

南山大学大学院
入学試験
出題の意図および解答例

社会科学研究所
経済学専攻

2026年度・夏季

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

《博士前期課程》

専攻科目の基礎に関する筆記試験（政策）	1
外国語（英語）	2

＜出題の意図＞

1 試験問題全体

経済学専攻・租税法研究で学ぶ前提となる税法関係の専門知識の有無を確認する。

2 問題1 (選択式)

租税法研究領域のうち特に租税法全般に係る基本的な事項の理解度について確認する。

3 問題2 (選択式)

租税法研究領域のうち特に法人税法分野に関する理解度について確認する。

4 問題3 (事例を踏まえての計算問題)

消費税法の基礎的な理解を前提に、事例問題において的確な解答がなされているかについて確認する。

5 問題5 (記述式)

税法に関する新たな制度改正 (特定親族特別控除創設) の是非を問うことにより、その結論を導き出す過程において的確な検討プロセスが行われているかを検証することにより、論理的思考力、表現力、文章作成力について確認する。

＜解答例・評価のポイント＞

1 問題1 (正答)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
②	②	②	②	③	②	①	③	③	②

2 問題2 (正答)

1	2	3	4	5
(2)	(4)	(3)	(4)	(2)

3 問題3 (正答)

X商品に係る納税義務を有する者 B

X商品に係る消費税として納付すべき消費税額 909円

4 問題4 (評価のポイント)

解答に当たっては、以下の点を評価した上で採点を行った。

1 特定親族特別控除のメリット (①大学生のアルバイトに係る就業調整が少なくなる、②大学生のアルバイトの増加により、本人の所得が増加するとともに雇用者も雇用しやすくなる等)、問題点 (①制度が複雑となり、特定扶養控除を受ける者及びその雇用者等の年末調整の事務負担が増加する、②大学生のアルバイト増加により学修に専念する時間が少なくなり、全体的に大学生の学力低下が懸念される等) について記載しているか。

2 文章の構成として、理由と結論が論理的に結びついているか。

3 誤字、脱字等がなく、的確な日本語として表記されているか。

<出題の意図>

試験問題全体

経済学専攻での学修を円滑に進めるために、英語で書かれた参考文献を理解するうえで必要な総合的な英語運用能力 (読解・文法・語彙・表現) および経済学の専門用語に関する知識を確認する。

(記述式)

経済学の学術論文の翻訳を通して、英語の総合的運用能力 (読解・文法・語彙・表現) および経済学の専門用語などに関する理解度を評価する。また、表現力と文章作成力を評価する。

<解答例・評価のポイント>

(評価のポイント)

解答にあたっては、以下の点を評価したうえで採点を行った。

- (1) 英語論文の文法・語彙・表現および経済学の専門用語を正しく理解し、その内容を的確に翻訳しているか。
- (2) 誤字・脱字などがなく、適切で自然な日本語として表現されているか。

発行：南山大学 入学センター

名古屋市昭和区山里町 18 番地

Phone : (052)832-3119

E-mail : nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp

U R L : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>